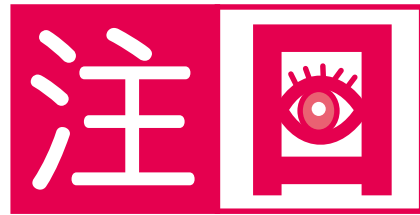




あなたに



かねこ 金子 勇さん

### きのこ菌床センターを拠点に 地域おこし協力隊員として活動

きのこ菌床センターを拠点に活動をしてきた地域おこし協力隊員の金子勇さん(43)の任期が、8月31日で終了しました。

地域おこし協力隊は、都市地域から人口減少の進行が著しい地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した人を市町村が『地域おこし協力隊員』として委嘱します。隊員は一定期間、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの『地域協力活動』を行いながら、その地域への定住・定着を図ることを目的とした制度です。

金子さんに地域おこし協力隊員として過ごした3年間と今後の活動について聞いてみました。

### 地域おこし協力隊として

平成29年9月に着任し、上尾幌のしいたけに関わり技術の習得や上尾幌地区の活性化など、あつという間の3年間でした。

札幌市出身の自分にとって驚いたことは、物々交換の習慣や人との繋がりの強さが印象的で、SNSなどよりも早く情報が伝わっているのには驚きました。

### 思い出に残っていること

平成30年9月6日に発生した北海道胆振地方東部地震後に発生した北海道全域の停電『ブラックアウト』の時が一番印象に残っています。

町の方が一丸となって、困っているとところをピンポイントで助ける。そして、自分も周りの皆さんの力を借りて、不自由も少なく生活ができました。

### 厚岸町の魅力

なんととっても住んでいる人が魅力です。人柄はもちろんのこと、『専門職の町』だと感じています。海と山、そして商業についても難しいことや厳しいことを皆さんは、サラッとこなしてしまいます。

この3年間で、上尾幌地区の方をはじめ町内外の人たちと交流してきましたが、人との関わりの中から知ることのできる情報や体験が自分の財産となりました。普通に観光するだけでは決してわからない、『プロフェッショナルな人がたくさんいるまち』、ここが魅力です。



### 今後の活動について

任期終了後は、上尾幌に住みながら、尾幌地区できのこ、羊、いちご、山菜の生産・加工を軸にした観光牧場を兼ねた兼業きのこ農家を目指します。



しいたけ栽培を始めるまでにかかる初期費用については、離農者の元牛舎を改造したり、資材を再利用することで概算の10分の1以下に抑えることができました。また、きのこの新規就農時の助成制度を作っていたので、あとは、町からきこの農家の認定新規就農者として認定されることを目指し、さまざまな助成制度を利用しながら、『楽農』をモットーに新しい農家のスタイルを確立したいと思っています。

厚岸町に新規就農の移住者が更に増えるよう、そして、この活動が成功事例となるよう、町に貢献していきたいと思っています。